

標準委員会 システム安全専門部会 BWR 熱流動評価分科会
第 23 回(S4SC23)議事録

日時：2025 年 1 月 22 日(水) 10 時 00 分～12 時 00 分

場所：Web 会議(Webex)

出席者(敬称略)

出席委員 工藤主査、黒崎副主査、土屋幹事、淀幹事、野崎幹事、垣内、北島、久保、
佐藤、茶木、古谷、師岡、宇多、二瓶(14 名)
常時参加者 尾崎、末廣、本谷、香川、田代、塚本、八木橋

配布資料

S4SC23-1 第 22 回 BWR 熱流動評価分科会議事録（案）
S4SC23-2-1 時間領域安定性評価標準中間報告に対する標準委員会コメントリスト
S4SC23-2-2 BWR の時間領域核熱水力安定性評価基準：202X(案)

参考資料

参考 S4SC23-1 BWR 熱流動評価分科会構成員名簿

議事及び主な質疑応答

0. 出席者／資料確認他

【出席委員の確認】

委員出席者を確認し、本分科会の定足数(委員数 17 名の 2/3 以上)を満たすことを確認した。

1. 前回議事録の確認

【第 22 回 BWR 熱流動評価分科会議事録(案)(S4SC23-1)】

事前に送付された前回分科会の議事録案への追加のコメントはなく承認された。

2. 時間領域安定性標準原案の標準委員会中間報告コメント及び対応について

【時間領域安定性評価標準中間報告に対する標準委員会コメントリスト(S4SC23-2-1)】

尾崎常時参加者(時間領域安定性標準作業会幹事)より標準委員会中間報告後の意見募集の結果 (SC24-15)，19 件の意見があったこと、及びその回答が報告された。

主な議論を以下に示す。

- 要検討箇所の対応スケジュールについては、標準委員会への最終報告に向けて、1年程度かけて準備していくことになる。分科会では、作成した原案が標準委員会委員長の趣旨に沿っているかを確認していく。
- No.3 の “定常と類似した状態” は適用範囲に記載されている。これを説明する部分は現在の標準原案に入っていないが、最終的には標準の使用者が適用範囲について正確に理解できるようにするために、解説の “4.1 適用範囲の説明” にて分かりやすく説明する必要がある。
- No.1 の “解析条件の設定についても現状の規定のままとなります。” との一文は削除する。
- No.6 の “マノメータ振動” は “振動” のみで趣旨は通じるため “マノメータ” は削除する。なお、この振動は測定データにもみられている可能性があり、解析上ののみ生じるものではない可能性がある。時間領域安定性標準作業会でも再度確認する必要がある。

本分科会で説明された S4SC23-2-1 のシステム安全専門部会への上程可否について審議が諮られ、分科会出席委員の賛成多数により承認された。

3. その他

工藤主査より分科会三役で見直し、システム安全専門部会へ提出した標準 5 か年計画の概要が紹介された。標準 5 か年計画については分科会委員及び當時参加者へメールにて共有することとした。

次回分科会は、2月のシステム安全専門部会、3月に予定される標準委員会の審議状況を踏まえ、適宜開催日時を決定して周知する。

以上